

スコーチ防止剤スコノック7について (4)

前回¹⁻²⁾までに加硫促進剤単独での、スコノック7とCTPのスコーチ防止効果を紹介した。今回は、DMに二次加硫促進剤として、D, H, TT, 8を併用した場合の効果について紹介する。

表1にスコーチ時間、図1から4に加硫曲線を示した。スコノック7は、CTPと比較してDM/D, DM/8で、スコーチ防止効果が大きい。よって、スコノック7は、塩基性加硫促進剤に対する効果が大きいことがわかる。

実験

1. 配合

NR 100, 酸化亜鉛 5, ステアリン酸 1, N330 50, ナフテン系オイル10, 硫黄 2.5, DM 1.0, 二次加硫促進剤 1.0, スコーチ防止剤 0.3

2. 評価

- (1) 加硫試験; MDR2000, 145°C
- (2) ムーニースコーチ試験; ML, 125°C

参考文献

- 1) NOC技術ノートNo.620;日本ゴム協会誌,85,会告245 (2012)
- 2) NOC技術ノートNo.621;日本ゴム協会誌,85,会告275 (2012)

ここに記載した内容は、細心の注意を払って行った試験に基づくものでありますが、結果をすべて確実に保証するものではありません。

表1 DM併用によるスコーチ時間, 単位; 分

	D	H	TT	8
無添加	5.1	8.6	7.2	4.2
スコノック7	6.2	9.7	7.7	5.7
CTP	5.9	10.7	9.1	4.9

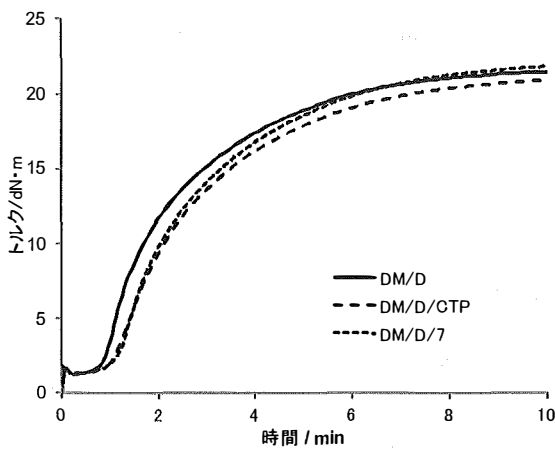


図1 DM/Dに対する効果

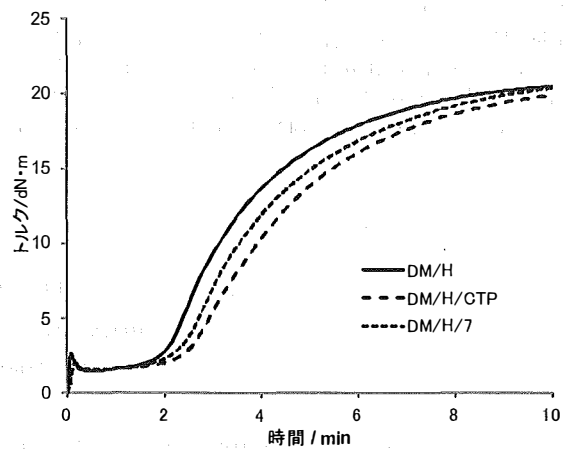


図2 DM/Hに対する効果

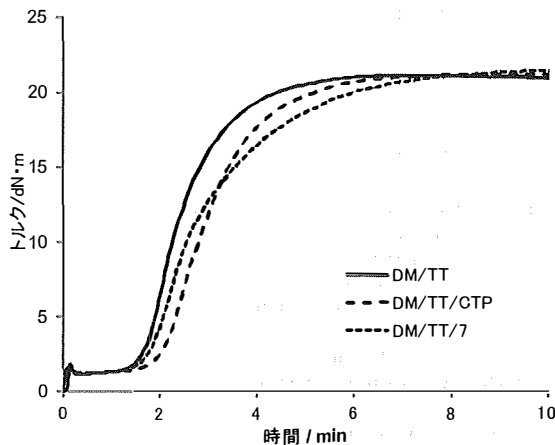


図3 DM/TTに対する効果

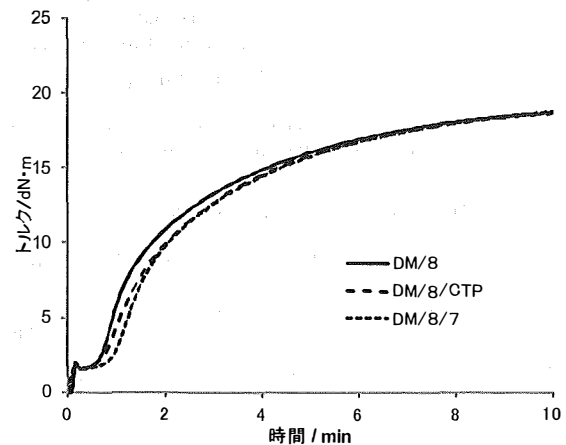


図4 DM/8に対する効果